学校番号	413

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ（文系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｂ　Advanced（東京書籍）						
副教材等	PRIME　数学Ｂ（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ｂは高校で学ぶ数学の重要な科目である。よって、内容の深い理解と知識・技能の定着が望まれる。まずは授業をきちんと受け、内容の理解に努めることが大切である。また、問題を解く練習を多く積む必要があるため、授業中の演習はもちろん、家庭学習時の反復練習に力を入れることも忘れてはいけない。

２　学習の到達目標

数列・ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して、数列、ベクトルにおける考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，数列、ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数列、ベクトルにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数列、ベクトルにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート確認 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	数列	数列				○	a: いろいろな数列に関心をもつとともに，その規則性を表現することのよさを認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 数列の規則性や一般項，和を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 数列の一般項や和を求めたり，数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。 d: 数列の一般項や和，漸化式，数学的帰納法の基本的な概念，性質を理解し，知識を身につけている。	授業態度 発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査
		等差数列	○		○	○		
		等差数列の和	○		○	○		
		等比数列	○		○	○		
		等比数列の和		○	○	○		
		和の記号Σ		○	○	○		
		いろいろな数列	○	○	○			
	漸化式と数学的帰納法	漸化式	○	○	○			
		数学的帰納法		○	○	○		
2学期	ベクトル	ベクトルの意味	○			○	a: ベクトルに関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象をベクトルを用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象をベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。 d: ベクトルに関する基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身につけている。	授業態度 発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査
		ベクトルの加法・減法・実数倍			○	○		
		ベクトルの成分	○		○	○		
		ベクトルの内積		○	○	○		
	ベクトルの応用	位置ベクトル	○	○		○		
		ベクトル方程式	○			○		
3学期	空間におけるベクトル	空間座標	○		○	○		
		空間におけるベクトル		○	○	○		
		位置ベクトルと空間の図形	○		○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。